

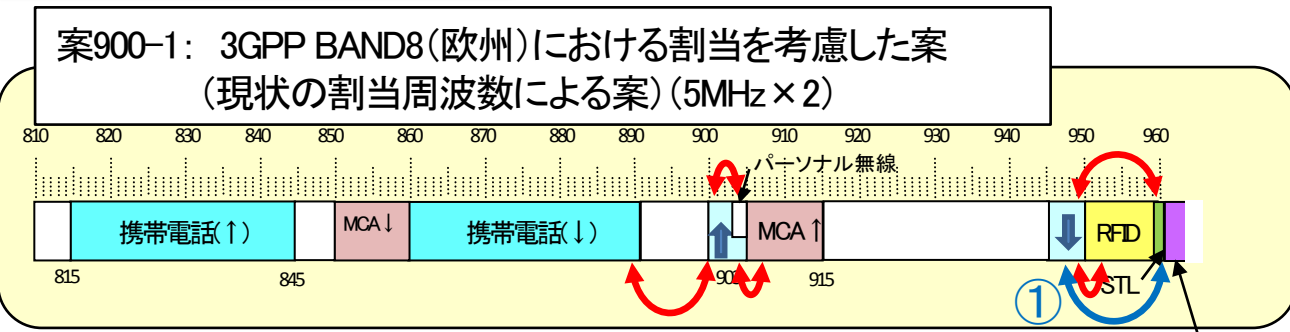
1 情報通信審議会情報通信技術分科会携帯電話等周波数有効利用方策委員会における検討

- 周波数検討WGの中間とりまとめ以降、標記会合を計9回開催し、多くの関係者が参加して議論を実施。
- 各モデル案をベースに干渉検討が必要となる無線システムの組合せをリストアップし、それぞれについて、システム共存上必要となる最小ガードバンド(GB)幅とその際の共存条件を求めた。

2 700MHz/900MHz帯における干渉検討の状況

- 900MHz帯の再編案については、案900-1→案900-2に移行する形で再編する案は概ね実現可能^{注)}との結果。
注) 検討済の組合せの多くは、基地局のフィルタ挿入や配置調整、端末の一部運用制限などの制約を条件として、共存可としている。
- 700MHz帯については、多くのシステム間で干渉検討が未了(調整中)。GBの最小化に向けて、引き続き、実力値(実機データや実際の運用形態等)を使用して詳細な評価を行うことが必要。

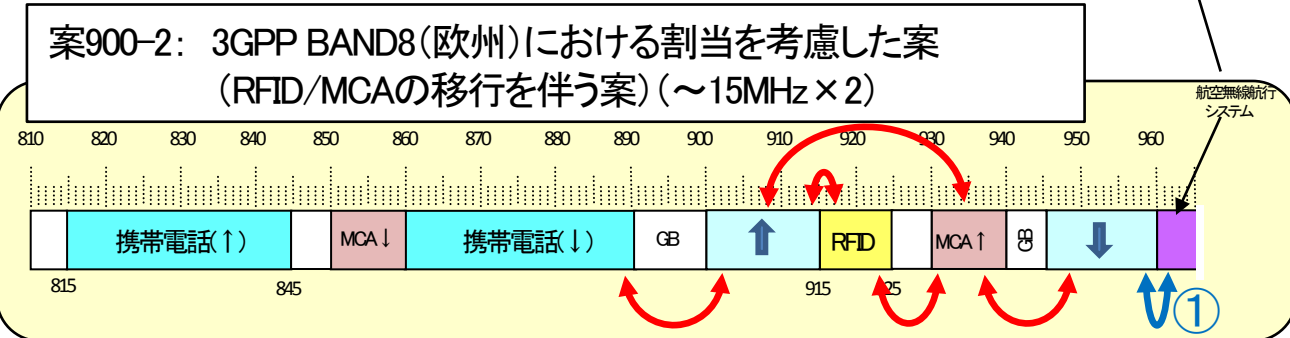
(1) 900MHz帯の再編案



(注) 赤色矢印: 一次検討済、青色矢印: 要詳細検討

■以下に配慮することで実現可能の見込み
 ※基地局等の設置場所の個別調整
 ※パーソナル無線の利用密度が低い地域で導入 等

■①<対 航空無線航行システム>との干渉につき、一部詳細検討が残っている(諸外国でも同様な割りあり)



■以下に配慮することで実現可能の見込み
 ※基地局等の設置場所、フィルタ挿入等の個別調整
 ※パーソナル無線の利用密度が低い地域で導入
 ※携帯電話端末の一部運用制限 等

■移行途中でMCAやRFID等と周波数共用を行う場合は、当該システムと十分な離隔距離をとる必要

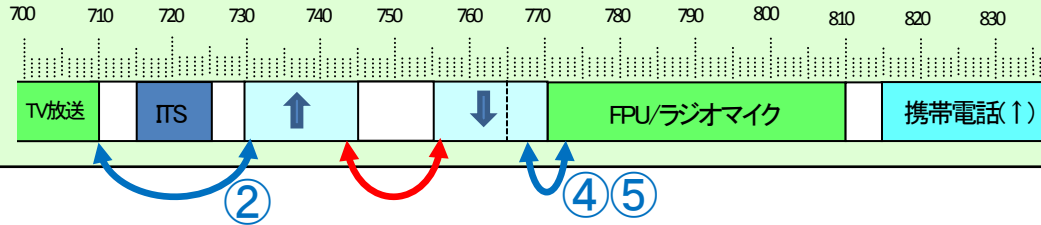
■①<対 航空無線航行システム>との干渉につき、一部詳細検討が残っている(諸外国でも同様な割りあり)

700/900MHz帯割当検討モデル案の技術的実現性の検討結果(2/2)

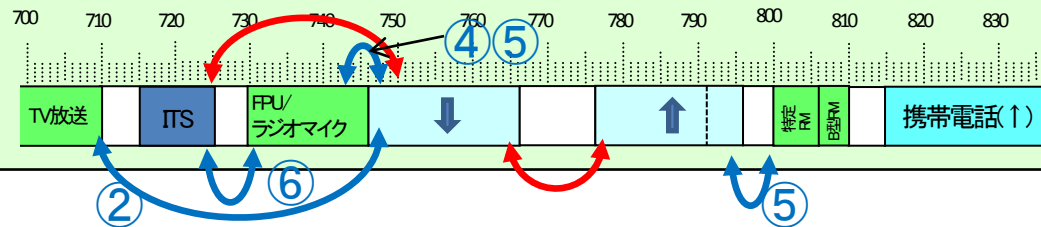
(2) 700MHz帯の再編案

(注) 赤色矢印: 一次検討済、青色矢印: 要詳細検討

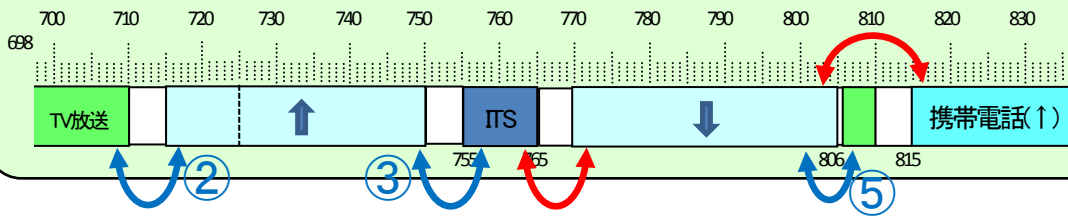
案700-1: 現状の割当周波数で割り当てる案(10~15MHz×2)



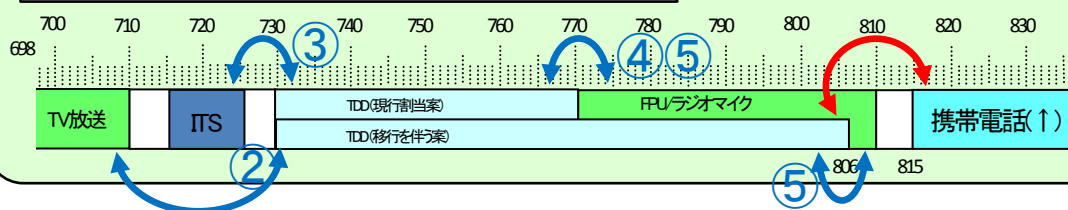
案700-2: 米国における割当を考慮した割当案(15~20MHz×2)



案700-3: AWFにおける検討案を考慮した割当案(25~35MHz×2)



案700-4: TDD方式に割り当てる案



■ 干渉検討の調整未了の組合せが多数残存。現段階での検討状況は次のとおり。引き続き、GB最小化に向け精査することが必要。

②<対TV放送>

基地局はGB30MHz以上 & 所要離隔距離要

陸上移動局はGB15MHz & 所要離隔距離要

陸上移動中継局及び小電力レピータは検討未了

③<対ITS>

基地局はGB5MHz

陸上移動局はGB5MHz(ただし、陸上移動局⇒ITS車載機(車内モデル)のケースはGB5~10MHz)

④<対FPU>

基地局及び陸上移動中継局はGB5MHz(5MHz未満の可能性有)

陸上移動局及び小電力レピータはGB10MHz(10MHz未満の可能性有)

⑤<対ラジオマイク>

基地局はGB5MHz

陸上移動局及び小電力レピータはGB10MHz以上(10MHz未満の可能性有)

陸上移動中継局はGB5~10MHz